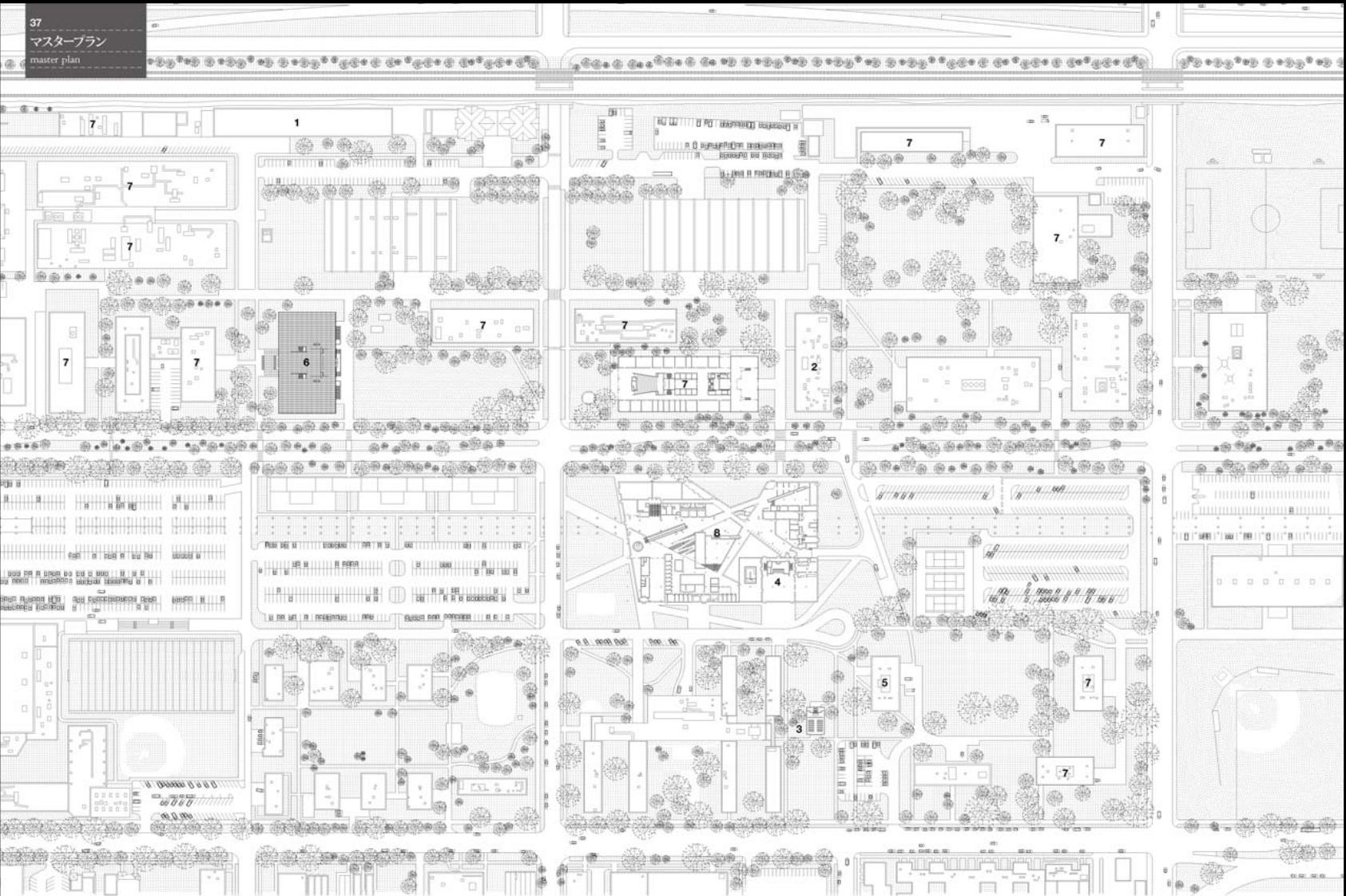


# 「配置図集」を用いた初学者向け建築設計教育プログラムの実践と展開

松岡 聰

田村 裕希



イリノイ工科大学キャンパスのマスター・プラン  
Revised Master Plan for the Illinois Institute of Technology

設計 ミース・ファン・デル・ローエ | Ludwig Mies van der Rohe

場所 米国、シカゴ | Chicago, Illinois, USA

期間 1939-1958



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 5 | 37 | master plan

Name	1期平面図兼配置図
Scale	1:3000
Orientation	(G)
1	鉱物・金属研究棟 [1943年]
2	同窓会記念ホール [1946年]
3	チャペル [1952年]
4	コモズビルディング [1953年]
5	ハーマンホール 学生寮宿舎 [1953年]
6	クラウンホール [1956年]
7	【以上、ミースによる設計】
8	その他のミースによる設計
	マコーミック・センター [OMA設計, 1997-2003年]

イリノイ工科大学の建築学科主任教授に就任したミースは、大学からキャンパス計画と校舎の設計を依頼され、大学を去るまでの約20年の間、合計22棟を手がけた。敷地はシカゴの中心地の南で、1940年代にはスラム化がすすんでいるエリアであった。計画の実現には、敷地内の3000以上の土地所有者との用地買収を必要としたため、時間的、経済的に10年単位で進められた。

研究棟(1943年)から、最後のクラウンホール(1956年)まで、ミースの設計によるすべての建物を着色しなさい。  
Q.2——7.2mの平面グリッドが、1つの建物をこえて、複数の建物に連続していることが読みとれる箇所を探しなさい。  
Q.3——建物と周囲のオープンスペースの配置上の特徴は何か。

# 配置図集を用いた初学者向け建築設計教育プログラムの実践と展開



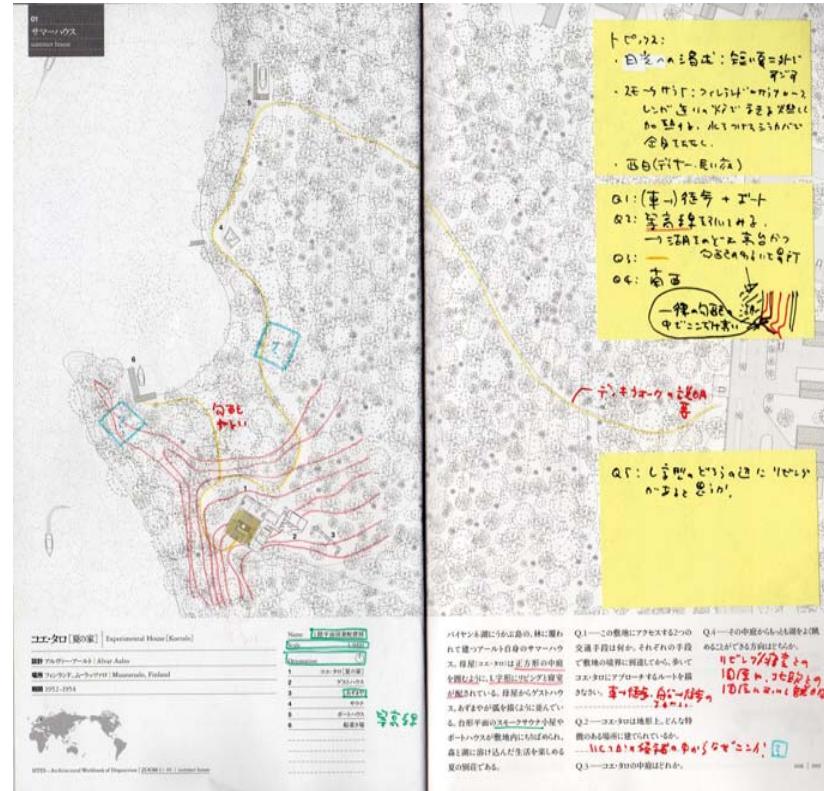
『サイトー建築の配置図集』  
松岡聰+田村裕希著 学芸出版社刊

## 建築設計に必須の知識を「配置」を中心に学ぶ

配置という言葉は、建物の敷地内の配置や、敷地のコンテクストも含んだ建物の配置、また、一つの建物の内部の空間単位や柱や窓などの構成要素の配置に至るまで、建築の分野においていたるところで使われる。対象となる建物や空間単位、構成要素をとり囲む周囲をどこまで描くかについては、配置図（平面図）を描く設計者の配慮に任せられている。周囲のものの存在を認めて、それらとの関係の中で対象を定位し、関係を築こうとする、「配」慮による設計行為が、配置である。建設後、時を経た名作建築を現代の周辺環境と共に、木の葉や屋根の表情まで微細に再現した『サイト—建築の配置図集』は、この「配」慮による設計行為を、配置図と解説ページを織り交ぜて解説するワークブックであり、私たちの教育プログラムの核となっている。

「配置図集」を用いた初学者向け建築設計教育プログラムの実践と展開

## (1) 教育の効果



『サイトー建築の配置図集』 配置図ページ書き込み：80 以上の配置図を収録する

01  
サマーハウス  
summer house

**コエ・タロ「夏の家」 | Experimental House [Kettala]**

設計 アルヴァー・アールト | Alvar Aalto  
場所 フィンランド、ムーラッサロ | Muuratsalo, Finland  
期間 1952-1954

世界地図

SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 1 | 01 | summer house

Name 1番平面図兼配置図  
Scale 1:1000  
Orientation ①

Name	1番平面図兼配置図
1	コエ・タロ「夏の家」
2	ゲストハウス
3	あずまや
4	サウナ
5	ボートハウス
6	船着き場

バイアンネ湖にうかぶ島の、林に覆われて建つアールト自身のサマーハウス。母屋(コエ・タロ)は正方形の中庭を開むように、L字形にリビングと寝室が配されている。母屋からゲストハウス、あずまやが弧を描くように並んでいる。台形平面のスマーカサウナ小屋やボートハウスが敷地内にちりばめられ、森と湖に溶け込んだ生活を楽しめる夏の別荘である。

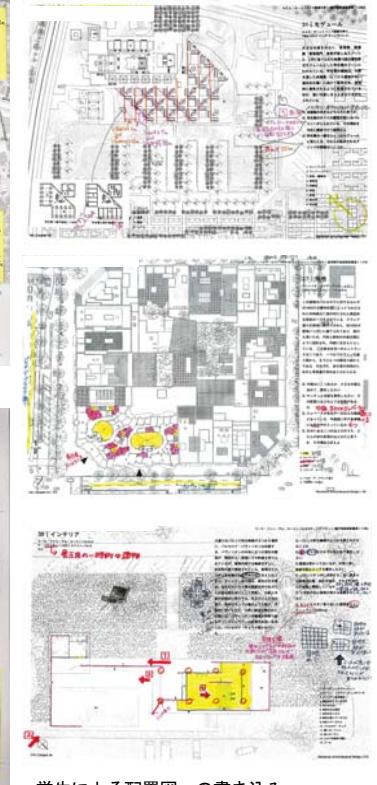
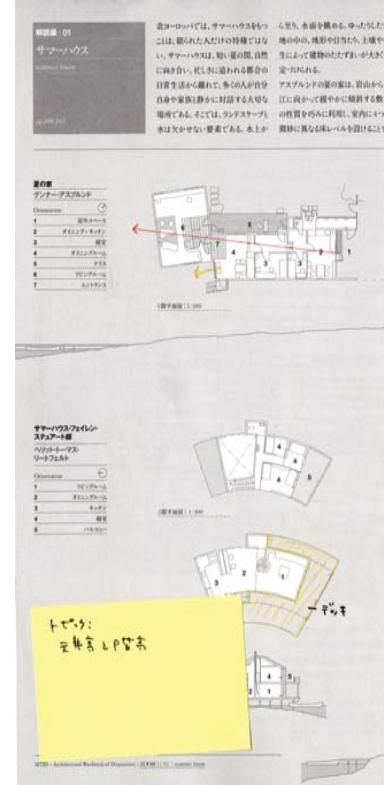
Q.1——この敷地にアクセスする2つの交通手段は何か。それぞれの手段で敷地の境界に到達してから、歩いてコエ・タロにアプローチするルートを描きなさい。  
Q.2——コエ・タロは地形上、どんな特徴のある場所に建てられているか。  
Q.3——コエ・タロの中庭はどれか。  
Q.4——その中庭からもっとも湖をよく眺めることができる方向はどちらか。

008 | 009

## 建築理論科目と、設計演習科目との橋渡し

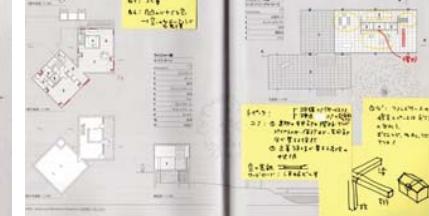
『サイト—建築の配置図集』による教育プログラムは、学部1、2年生が設計の演習科目を取り組むために必要な知識と手法を、主に一斉講義において習得する場面での利用を想定している。三角スケールで測り、矢印を書き込み、着色しながら図面を読み込みながら手を動かす習慣を身に付ける。建築設計に必要な知識を概念的、体系的に学ぶことの従来の方法とは異なり、より個別的で実践的な方法をとる。学生らが「問い合わせ」に答えながら手を動かす時間で、スライド中心の講義から、作業中心の講義に転換し学生が飽きない運営を行うことができる。目を養い、手を動かす設計の基礎を90分×15回のなかで行う。

解説ページ：作品によっては大きな縮尺の解説ページを用意した



学生による配置図への書き込み：

同じ学生でも書き込みのレベルが上がる



解説ページの例：断面図も大きく周辺を含む



サン・クレーの調査室 | Maison Saint Cloud

設計 ル・コルビュジエ | Le Corbusier

場所 フランス、ラ・セル・サン・クルー | La Celle-Saint-Cloud, France

期間 1934



SITES—Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 1 | 03 | camouflage

Name 1階平面図兼配置図

Scale 1:1500

Orientation

... 100 200 300 400 500 600 700 800 900 1000

-----

-----

-----

-----

-----

敷地は低い生垣に縁どられた別荘地にある。角地の奥の間に、道路からできるだけ離して建物を据え、林の奥に住宅をカモフラージュさせるかのように配置している。長さの異なる3つのヴォールト屋根を平行に並べて、自然の中で内部と外部が交感しあう住宅がめざされている。平屋で、高さは階高を2.6m以下に抑え、屋根には草を生やしている。

Q.1——文中の配置特徴からこの週末住家を探しなさい。

#### Q.2—週末住宅が建っている敷地

Q.3—敷地への入口はどちらの道路にとられていると思うか。

O.4—この週末住宅は、西面と南面

## 手で覚える白図

小、中学校の社会や地理の授業で使用する白地図帳は、生徒が手を動かして着色することで地名や場所、形状を覚えやすくなり、教員にとっては習熟度に応じて柔軟に問い合わせができる。この配置図集はそうした白地図帳の良さをとりこみ、さらに、知らない場所を漠然と眺めているだけでもワクワクするような地図の魅力を配置図で表現するために、木の葉や電柱、外灯、クーリングタワー、屋根の表情など、普段は配置図に描かない周囲のディテールをできるかぎり表現した。基本的に細い線幅のみを用いて、着色したり、コメントを書き込みやすいニュートラルな図面表現を心がけた。

**サイト——建築の配置図集**



学芸出版社  
3600円

評・松山巖（評論家・作家）

ライトの落水荘、コルビュジエのカップ・マルタンの小屋、アルト・カーンの夏の家、アスブルンドの図書館、カーンのソーグ研究所など名建築の詳細図集といえば、建築好きの読者

色塗りしながら学べる

ならよくある本だと考える。  
だが著者は名建築自体よりも近隣の建物群、幹線道路と小路、木々や煙、川や海岸、崖や丘などに注目した。それだけ資料を渉猟したばかりか、各建築と周辺を歩いて調査した。それでも全図は灰色のトーンで塗り絵の仕様だ。著者は各事例に応じて質問を読者に投げかける。目的の建築へ行く路は？ 舟ならどこで降りる？ 周囲の木々を緑色に塗って、テラスや崖など別の色で、という調子だ。読者は色塗りし寸法や方位

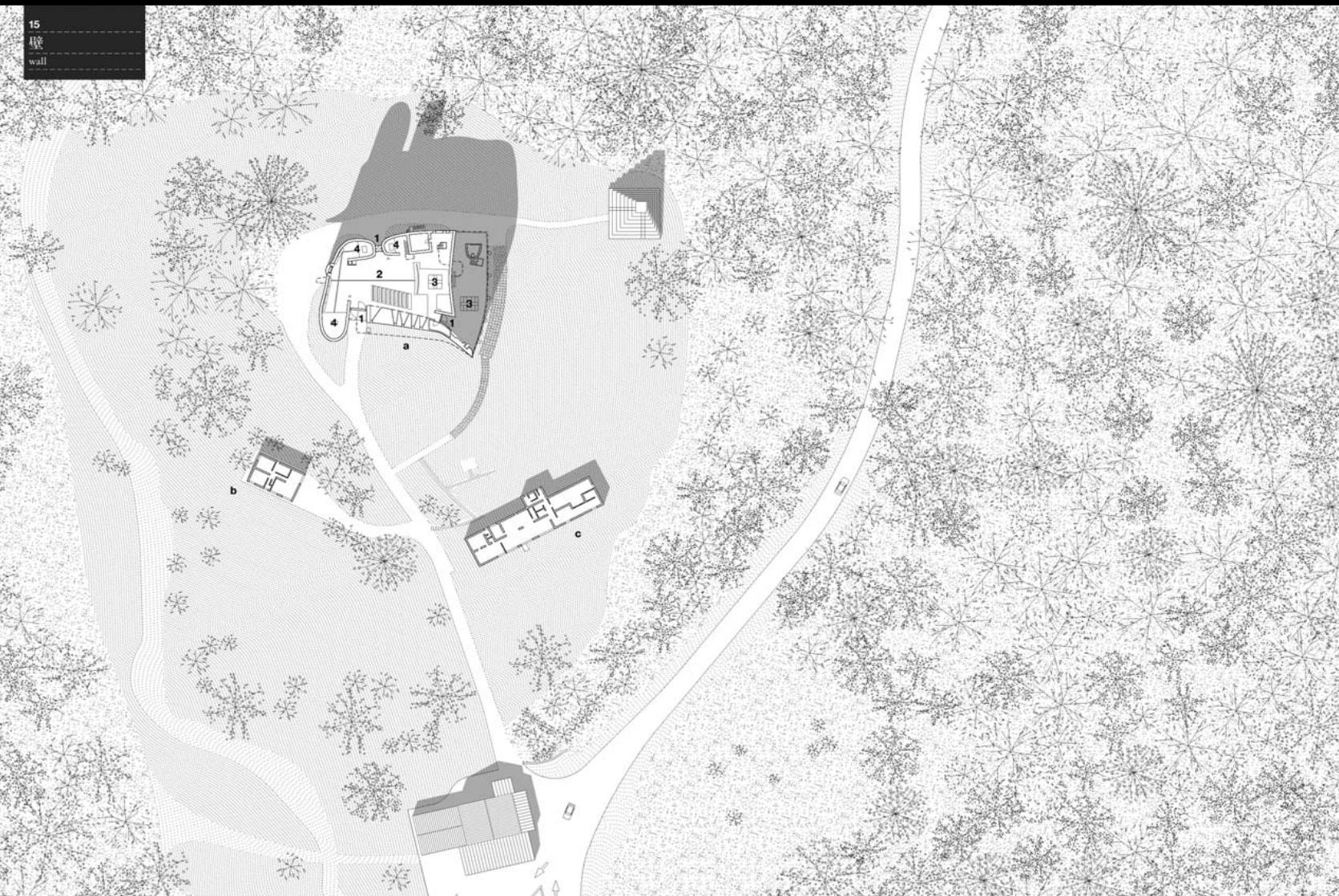
旅行に行けない方にこそ本書を。著者の問い合わせに答えていくうちに、次第に各建築の周りに広がる海や山、木々や煙、滝や沼がある。建築を活かすのは敷地や周辺風景への考慮が重要で、設計の基本なのだが、戦後、四角いビルばかり作っては壊してきた日本では理解されにくい。そのためか、本書で著者が挙げた日本事例は、近代建築ではなく桂離宮と吉備津神社だけだ。しかし現在、日本中で過疎化が進み、使われぬままの未利用地が増えつつある。だから様々な施設で今は広い敷地を利用できる可能性も高い。本書は建築と敷地を、さらに街づくりを考える上でも、ユニークでタイムリーな教科書である。

◆まつおか・さとし＝1973年生まれ。たむら・ゆき＝1977年生まれ。  
2005年、建築事務所を共同設立。

読売新聞全国版 2013年3月10日書評：松山巖氏による「色塗りしながら学べる」

## 問い合わせに導かれて深く図面を読む

複数の文献と、周辺環境のトレースによって詳細に描いた、現在の名作建築と周辺環境の配置を眺めて学習するだけではなく、各配置図に付けられた「問い合わせ」に導かれて配置図をより深く読み込むことができる。図面の中をあたかも歩いているかのような体験を促しながら、規模や方位、プログラムや動線などを理解しながら、配置に込められた意図への理解を深める。『サイト』に描かれた図面がもつ豊富な情報量は、複数の答えやさらなる問い合わせの出現を促す。掲載の問い合わせは講義のきっかけとして利用することを想定している。



ロンシャンの教会 | Notre-Dome-du-Haut Chapel

設計 ル・コルビュジエ | Le Corbusier

場所 フランス、ロンシャン | Ronchamp, France

期間 1950-1955



SITES – Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 3 | 15 | wall

Name 1階平面図兼配置図

Scale 1:1000

Orientation ☺

a	ロンシャンの教会
1	エントランス
2	会衆席
3	祭壇
4	礼拝堂
b	守衛室
c	巡礼者の宿泊所

フランス南西部、ロンシャンの村の外れの丘の上に建つ巡礼礼拝堂。林を抜けて山道を登っていくと、大きな白い壁が人を受け止めるようにそり曲がって待ち受ける。凹面と凸面にカーブし、緩い縦匀配のついた数枚の壁が、コンクリート打放し仕上げの巨大な屋根を支える構成である。日常のミサは、200人を収容する室内で行われるが、年に数回の1万人以上の巡礼者が集ま

るときは、東側の凹壁を背後にして、外でミサがとり行われる。

Q.1——何枚の凹凸の壁によってこの礼拝堂はできているか。

Q.2——外から見た場合の、凸の壁と凹の壁を二色で塗り分けなさい。

Q.3——山道を登ってアプローチしてきたとき、人を受け止めるという壁はどれか。

Q.4——屋外でミサが行われる場合、会衆はどのあたりに集まって、どちらに向いているか。

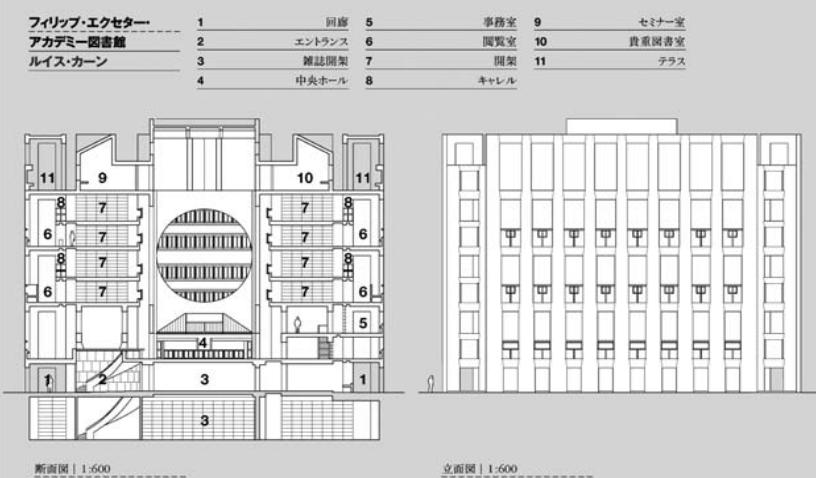
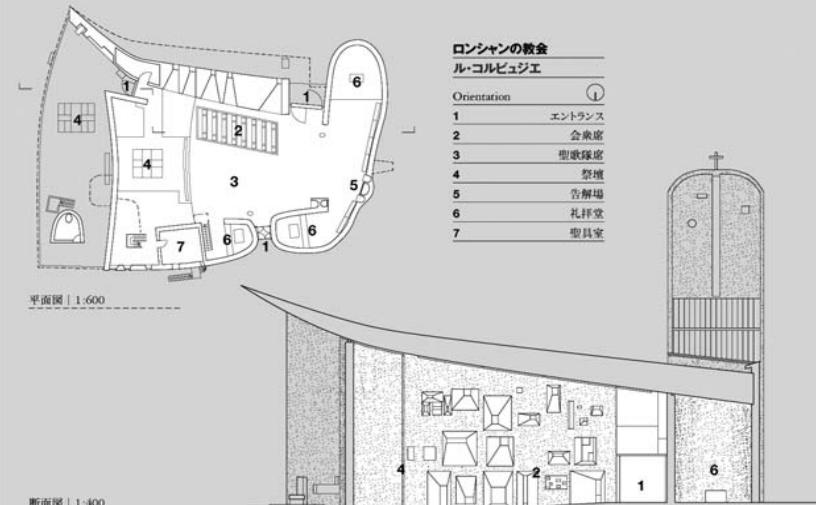
Q.5——凹凸の壁が切り替わる部分はどのように使われているか。

**[ロンシャンの教会]**

巨大な屋根は、フレームが外被によって覆われた航空機の翼のような構造である。屋根と壁がぶつかる箇所では、細いリストが入り、自立した壁と屋根の表現を強調する。礼拝堂内部は、祭壇に向かって高くなる天井や、床面の操作によって東西の主軸が強調される。

Q.1 — 南面の壁の厚みは、東に向かって薄くなっている。壁の最大と最小の厚みを測りなさい。

Q.2 — 断面図に見える塔は、光を探るこみ、塔の下部にある南礼拝堂に光を落している。同様の塔はほかにいくつあると思うか。平面図から推測しなさい。



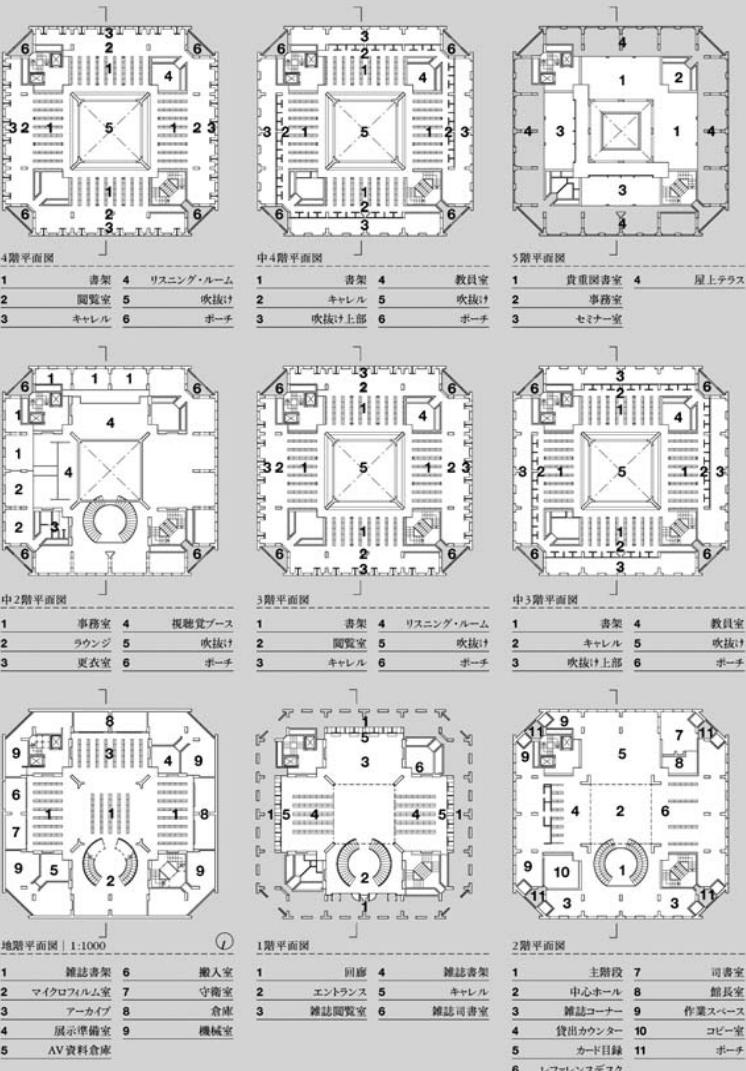
Q.3 — 東西の軸が強調されているという礼拝堂内部の床にはどういった操作がなされているか。

**[フィリップ・エクセター]****アカデミー図書館**

外壁の柱は負担する荷重の軽減にもなって上に行くほど次第に細くなる。

力学的な安定感と力強さが強調され、上階ほど大きな開口部を得られる。平面は、3層の入れ子構造で、中央ホール、書架が並ぶ本のための空間、閲覧室とキャレル（個人用書架および机）が置かれた読書のための空間の順に、内側から外に向かって対称に配されている。

Q.4 — この図書館は地上何階建てか。  
Q.5 — 同心円状の閲覧室、書架、中央ホールは天井高が異なる。閲覧室、中央ホールはそれぞれ、書架スペースの何層分の天井高があるか。



### 資料性の高い図面

配置図に描いた周囲の状況は、現在のものである。名作建築が建設された当時から場所によつては大きく様変わりした場合もあるが、そういった建築物さえ、現在もなお際立つた存在として配置図のなかで強い存在感を示している。実施にいたらなかつたり、仮設のものも含めて、現在の状況の中に描くという「現在性」を原則として描かれている。また、より広い周辺の状況のなかで、複数の図面を重ね合わせて一覧できるようにし（ヴァイセンホーフ・ジードルンク、イリノイ工科大学キャンパス）、未完の計画を現在の状況に当てはめる（フリードリヒ通り駅前高層建築案）など、見慣れた名作ではあっても、これまで描かれたことのない配置図を作成し、講義以外でも学生個人で建築作品を深く知るための資料としての活用ができる。

### 直感的なキーワードで配置図をまとめ

#### 次第にズームインする構成

ズーミングの順に作品は並んでいる。またそれぞれのズーミングによって認知できる対象を分かりやすいキーワードで表現して、いくつかの建築作品をまとめた。建物を上空のかなたから引いて見ている状態から、段々近づいて寄っていくよう、直感的に講義及び書籍の構成が分かるようにしている。

### 問い合わせ索引

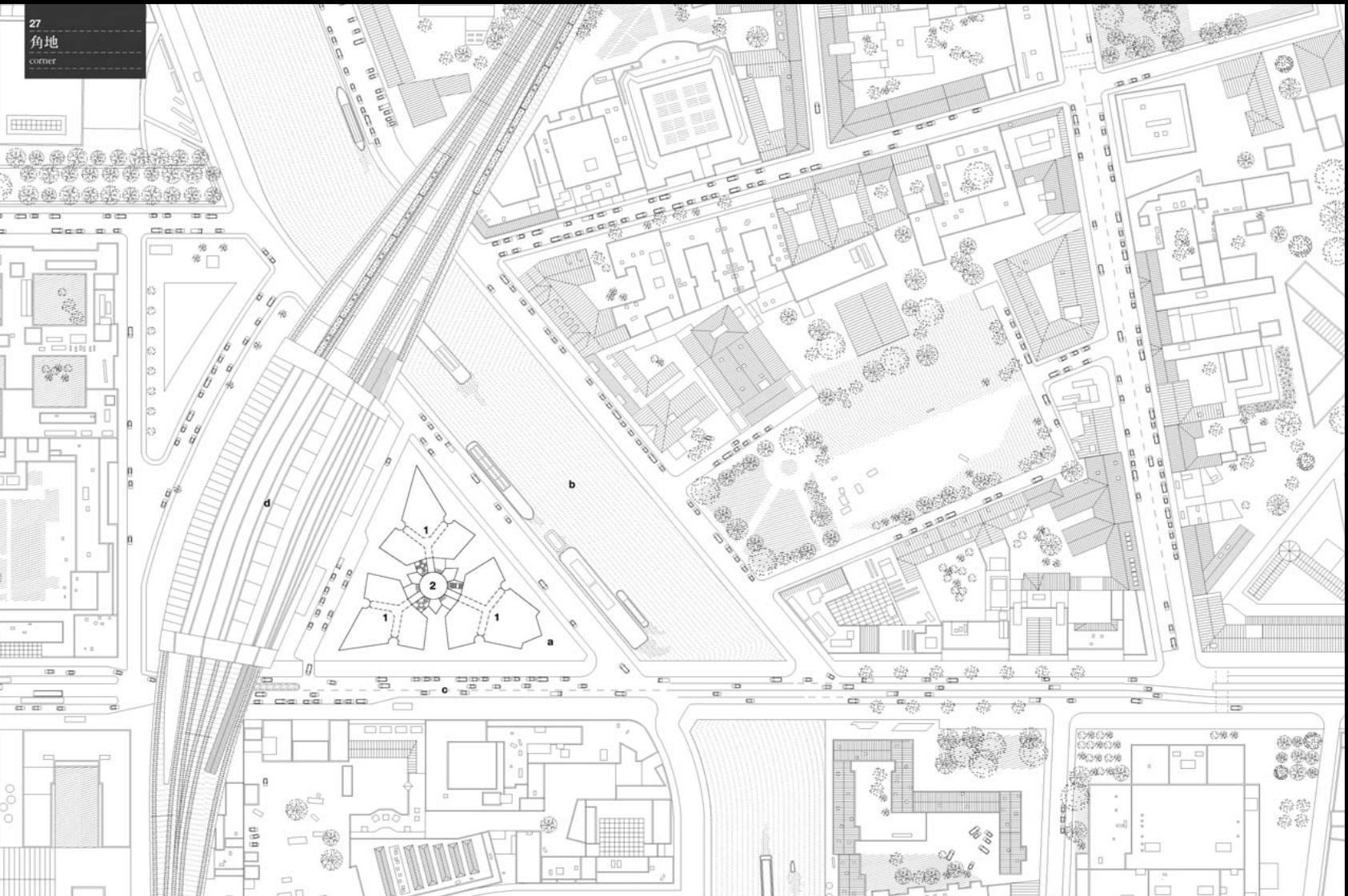
人物、作品、用語による通常の索引の他、「問い合わせ索引」を巻末に用意した。各図面の問い合わせで問われている内容ごとにまとめたもので、例えば「方位」に関する問い合わせを複数の配置図で集中的に解くことができる。



目次：直感的なキーワードとズーミング順



問い合わせ索引（右側）：同種の問い合わせを集中的に解ける



### フリードリヒ通り駅前高層建築案 | Friedrichstrasse Office Building

設計 ミース・ファン・デル・ローエ | Ludwig Mies van der Rohe

場所 ドイツ、ベルリン | Berlin, Germany

期間 1921



SITES – Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 4 | 27 | corner

#### Name 基準階平面図兼配置図

Scale 1:2000

#### Orientation

a フリードリヒ通り駅前高層建築

1 執務室

2 エレベータホール

b シュプレー川

c フリードリヒ通り

d フリードリヒシュトラーセ駅

ミース・ファン・デル・ローエは、1921-24年までに、現在では有名になった5つの計画案をたて続けて発表した。その

1つであるこのプロジェクトは、1921年、フリードリヒシュトラーセ鉄道駅、フリードリヒ通り、シュプレー川を結んだ三角形の区画の土地に計画された。キャンティレヴァーを用い、ガラスで外装された、鉄骨フレームによる20階建て、高さ80mのスカイスクレーパーであった。

Q.1——敷地の面積はおよそいくらくか。  
図面を測って計算しなさい。

Q.2——事務室として使用されるこの建物が、このような複雑に枝分かれした平面形をもつ理由は何か。

Q.3——シュプレー川に面した外壁線はどうになっているか。

Q.4——ガラスの反射を考えるとすべての外壁面に施されている、前述の外壁線の特徴はどのような効果を生むか。

Q.5——この建築の鋭角の立面をもっとよく眺めることのできる街路上のポイントはどこか。



ヴァイセンホーフ・ジードリンク | Weissenhofsiedlung Werkbund Exhibition

設計 ミース・ファン・デル・ローエ / リヒャルト・デッカー | Ludwig Mies van der Rohe / Richard Döcker

場所 ドイツ、シュトゥットガルト | Stuttgart, Germany

期間 1925-1927



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 4 | 28 | housing exhibition

Name	1階平面図 兼配置図	4アド・ラグス・スヌック 5ル・コ・リ・ビュエ 6ヴァルターヴロビウス 7ヒルベルトダイマー 8ブルーハタクト 9ハンス・ペルツヒ 10リヒセルト・デッcker 11マックス・タクト 12アド・フ・ラーティング 13ヨーゼフ・フランク 14マルト・スタム 15ベーターベンレーツ 16ハンス・シヨロウン 3ヴィクトール・ブレジョワ
Orientation	(○)	
a	エントランス	
b	リビングルーム	
c	ダイニングルーム	
d	キッチン	
e	寝室	
f	テラス	
1	ミース・ファン・デル・ローエ	
2	J-J-P・アウト	

1925年、シュトゥットガルト市の支援を受けて、ドイツ工作連盟は同市で開催する現代建築展を企画し、展覧会全体の芸術責任者の仕事がミースに委託された。マスター・プランは、建設予定地の丘を囲んで段状に築いた一連の低層建築として計画された。ヴァルター・グロビウス、ル・コ・リ・ビュエ、J.J.-P・アウト、ヨーロッパの優れたモダニストが招聘された。規格化と合理化を

共通テーマに新しい生活像を示す建売住宅の展示場として3ヶ月だけ公開され、その後の近代建築運動に大きな影響を与えた。

Q.1—各住戸のリビングルーム、寝室を別の色で塗り分けなさい。

独立住宅の3種類に分類しなさい。

Q.2—各住戸へのエントランスを着色し、集合住宅、テラスハウス(長屋)、

問い合わせは特設のウェブページに投稿して、新しい問い合わせを立ち上げる

『サイト—建築の配置図集』に付けられた問い合わせは一つではなく、図面をきっかけとしてさまざまな読み方が発見されることを期待している。そのため、特別に設けたウェブページ (<http://www.haichizu.org>) を用意し、各人が異なる答えを投稿し、さらに図面から気づいた発見をあらたな「問い合わせ」として他の読者に問い合わせができるようにした。自習用の教材としての利用と、講義を受けていない読者からのフィードバックを可能としている。

サイト—建築の配置図集 | SITES—Architectural Workbook of Disposition

Home Categories Archives About Search

Published by Q  
Filed under: ZOOM1 - 0.1%  
5つの問い合わせ

**ミース・ファン・デル・ローエ | ファンズワース邸**

[02 | 川口] p.016-017

Tagged in: ミース・ファン・デル・ローエ, 住宅, \*国  
Share this article: Facebook, Digg This, Delicio.us, StumbleUpon, Tweet this  
RSS 2.0 feed | Trackback

**5つの問い合わせ**

Q wrote:  
2013/01/08 11:45  
Q1—二つの矩形のうち、テラスはどちらか。  
[答えを探す](#)

Q wrote:  
2013/01/08 11:45  
Q2—北側の道路から、この建物の玄関ポーチへはどのようにアプローチするか、その経路を描きなさい。  
[答えを探す](#)

Q wrote:  
2013/01/08 11:46  
Q3—この建物は、何の向きに沿って配置されているか。  
[答えを探す](#)

Q wrote:

特設 HP ([www.haichizu.org](http://www.haichizu.org))：配置図一覧

特設 HP 内の各ページ：掲載の問い合わせと新たな問い合わせの投稿ページ



### サグラダ・ファミリア贖罪聖堂 | La Sagrada Família

設計 アントニオ・ガウディ | Antonio Gaudí

場所 スペイン、バルセロナ | Barcelona, Spain

期間 1883-1926



SITES – Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 4 | 26 | block

### Name 1階平面図兼配置図

Scale 1:2500

Orientation (1)

1	身廊
2	側廊
3	第二側廊
4	交差部
5	内陣
6	聖母被昇天の聖堂
7	聖貝堂/事務室
8	洗礼室/聖体と懺悔のためのドーム
9	回廊

1883年からガウディはこの聖堂の計画に着手した。前任者の設計によってすでに地下聖堂の工事が進んでおり、

その計画を譲り受け、高い塔を備えつけ、教会の垂直方向の展開を強化した。平面は、5身廊、3袖廊、後陣、交差部からなる、ラテン十字平面を構成するバシリカ形式の聖堂であり、立面は東に向むる「誕生のファサード」、南に面する「栄光のファサード」、西に面す

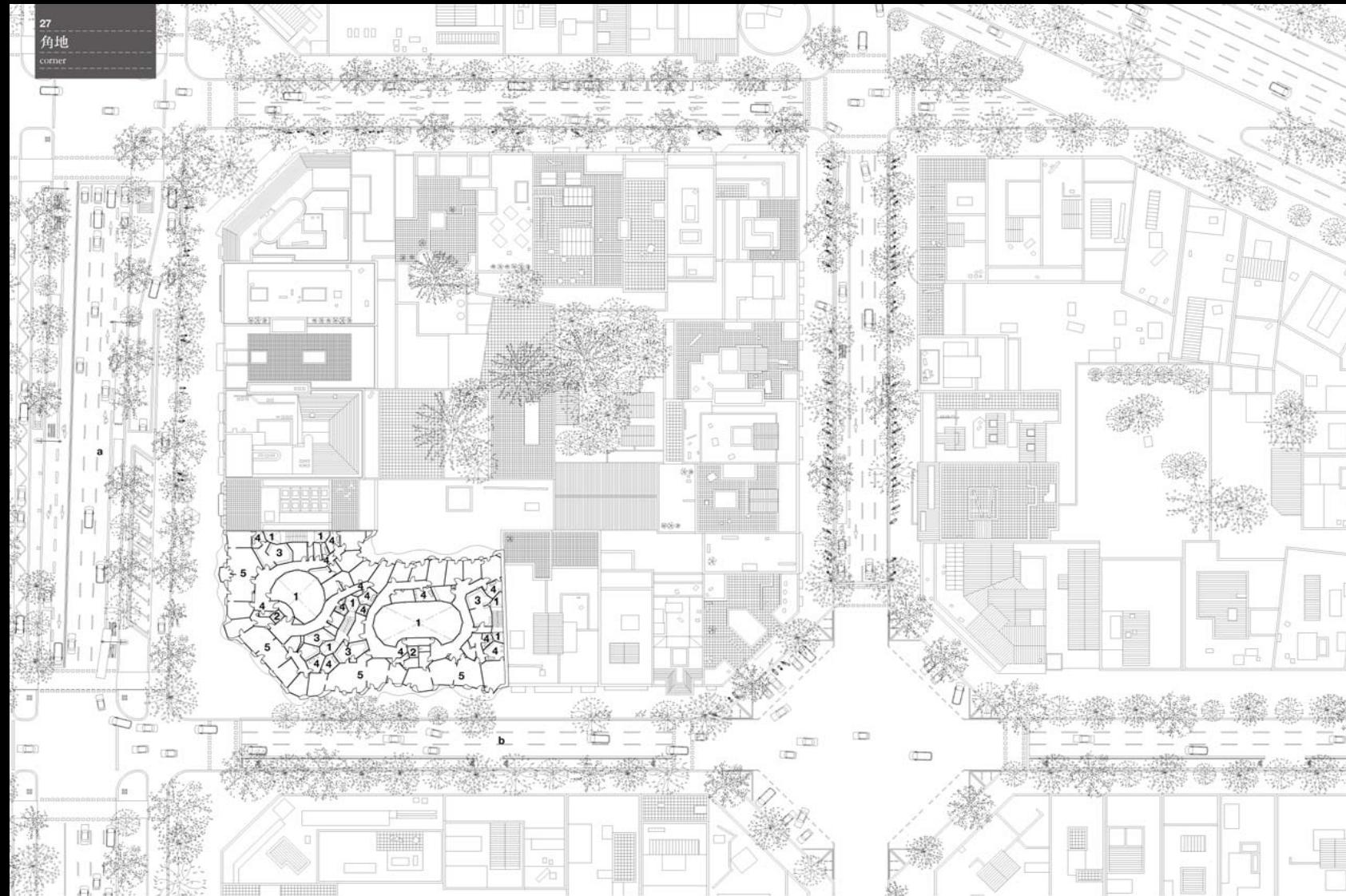
る「受難のファサード」の3つのファサードをもっている。外部の騒音をさえぎり、

宗教的雰囲気をつくる回廊としての、また宗教的祭儀の行列が行われる場所としての回廊が、聖堂全体を方形に取り囲み連絡する。

Q.2——それに対して、サグラダ・ファミリア贖罪聖堂が建つ街区の大きさはいくらか。

Q.3——図中の点線は、ガウディのスケッチに描かれた、聖堂のために計画した広場の範囲を示している。この広場の形はどういう意図をもって決められたと思うか。

154 | 155



カサ・ミラ | Casa Milà

設計 アントニオ・ガウディ | Antonio Gaudí

場所 スペイン、バルセロナ | Barcelona, Spain

期間 1906-1910



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 4 | 27 | corner

## Name: 基準階平面図兼配置図

Scale 1:1000

Orientation

1 中庭

2 エレベーター

3 キッチン

4 浴室

5 リビングルーム

a バセオ・デ・グラシア通り

b プログランサ通り

この建物は、セルダのバルセロナ拡張計画(1859年)によってうみだされた隅切りのある典型的な街区の角地を占めている。グラシア通りの角地の敷地いっぱいに建てられており、奥行が深いいた

め円形と卵形の中庭を開むように設計され、内部に光をもたらしている。この集合住宅へのエントランスは2つあります、1つはプロヴェンサ通り側から、もう1つは隅切り部からである。それらは人

用の出入口と馬車通行用の出入口であつた。

Q.1—カサ・ミラのある街区の大きさを測りなさい。  
Q.2—隅切りの長さを測りなさい。

Q.3—中庭はいくつあるか。小さな中庭も含めて、着色しなさい。

Q.4—キッチンと浴室を着色しなさい。  
その配置にはどのような特徴があるか。

Q.5—エレベータが各住戸への主な動線となっている。平面図に示す基準階には何戸が入っているか。

Q.6—この建物への2つの出入口のうち、どちらが「人用の出入口だ」と思うか。その理由も答えなさい。

### 建築系書店での原図展

『サイト—建築の配置図集』に掲載された 80 点あまりの配置図の原画を東京、京都の建築系書店で展示した。多くの方から配置図の魅力と名作の周辺環境に対する発見の声を聞くことができ、今後も巡回展として各地で開催予定である。

サイト展 東京展：南洋堂書店

会期・時間 | 2013 年 2 月 2 日（土）～16 日（土）

12:00～19:00

サイト展 京都展：MEDIA SHOP

会期・時間 | 2013 年 3 月 9 日（土）～31 日（日）

12:00～20:00

### 問い合わせワークショップ

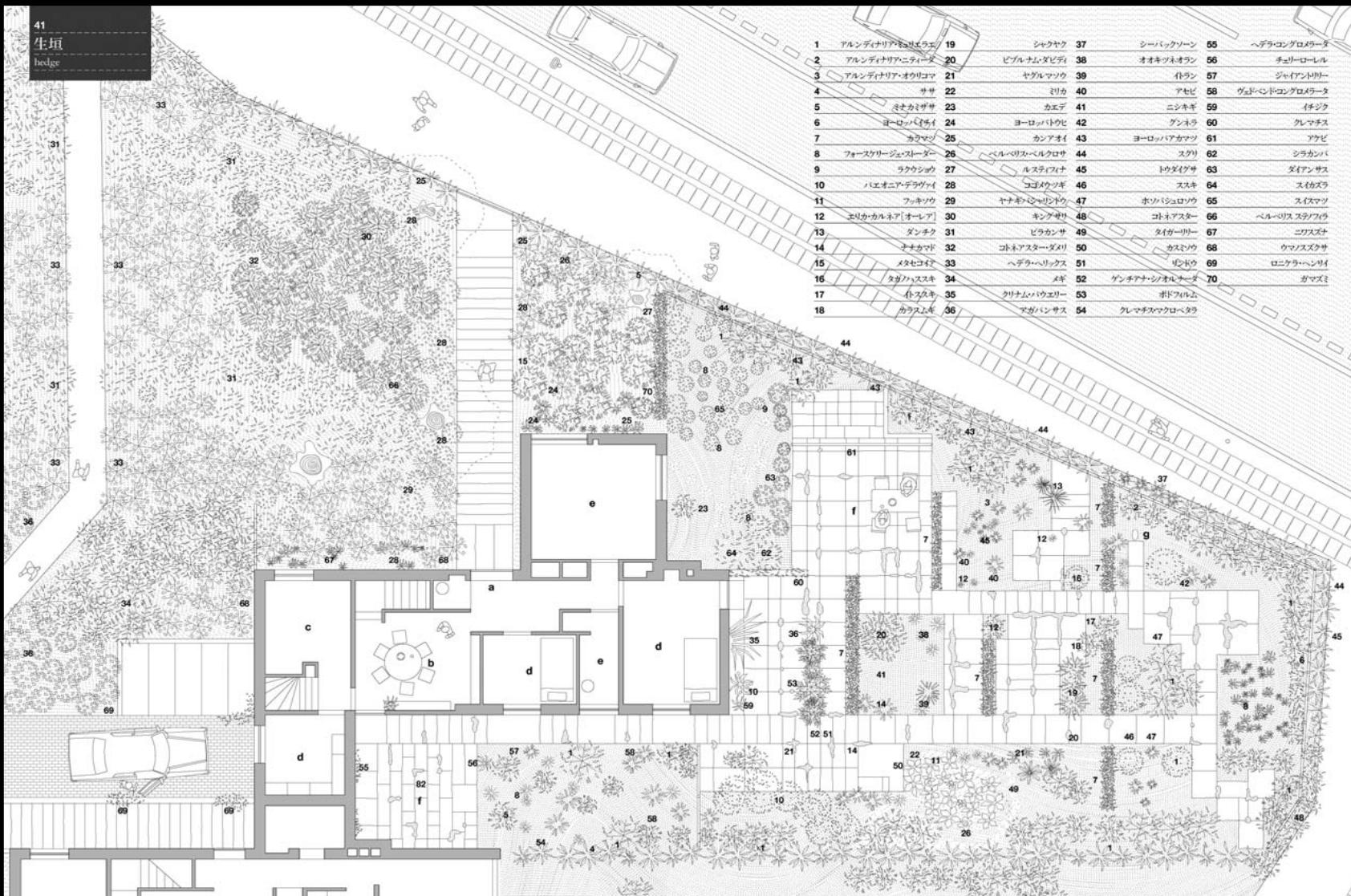
付箋を利用して、問い合わせに対する答えを書いて貼り直してもらうワークショップを展示と同時に行つた。学生からの答えとは異なる多様な答えや、コメントが寄せられ、学生にだけでなく一般の方への学習教材の展開を感じている。



南洋堂書店でのサイト展の様子



問い合わせのワークショップ：来場者に配置図の問い合わせに付箋で答えてもらう



## スーセンの庭園

Arne Jacobsen's own garden at the Søholm Housing Estate

設計 アルネ・ヤコブセン | Arne Jacobsen

場所 デンマーク、クランベンボーグ | Klampenborg, Denmark

期間 1950



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 6 | 41 | hedge

Name 1階平面図兼配置図

Scale 1:150

Orientation

a エントランス

b ダイニングルーム

c キッチン

d 寝室

e ミーティングルーム

f コート

g バードバス

ヤコブセンは、スーセンの自邸兼ア

トリエの庭に、建物と平行にカラマツ

(7)の生垣を植えて、庭をさらに小さなユ

ニットに区切った。その小さな箱庭のよ

うなユニットに300種類の植物を育て、

時間を見つければそれらを水彩でス

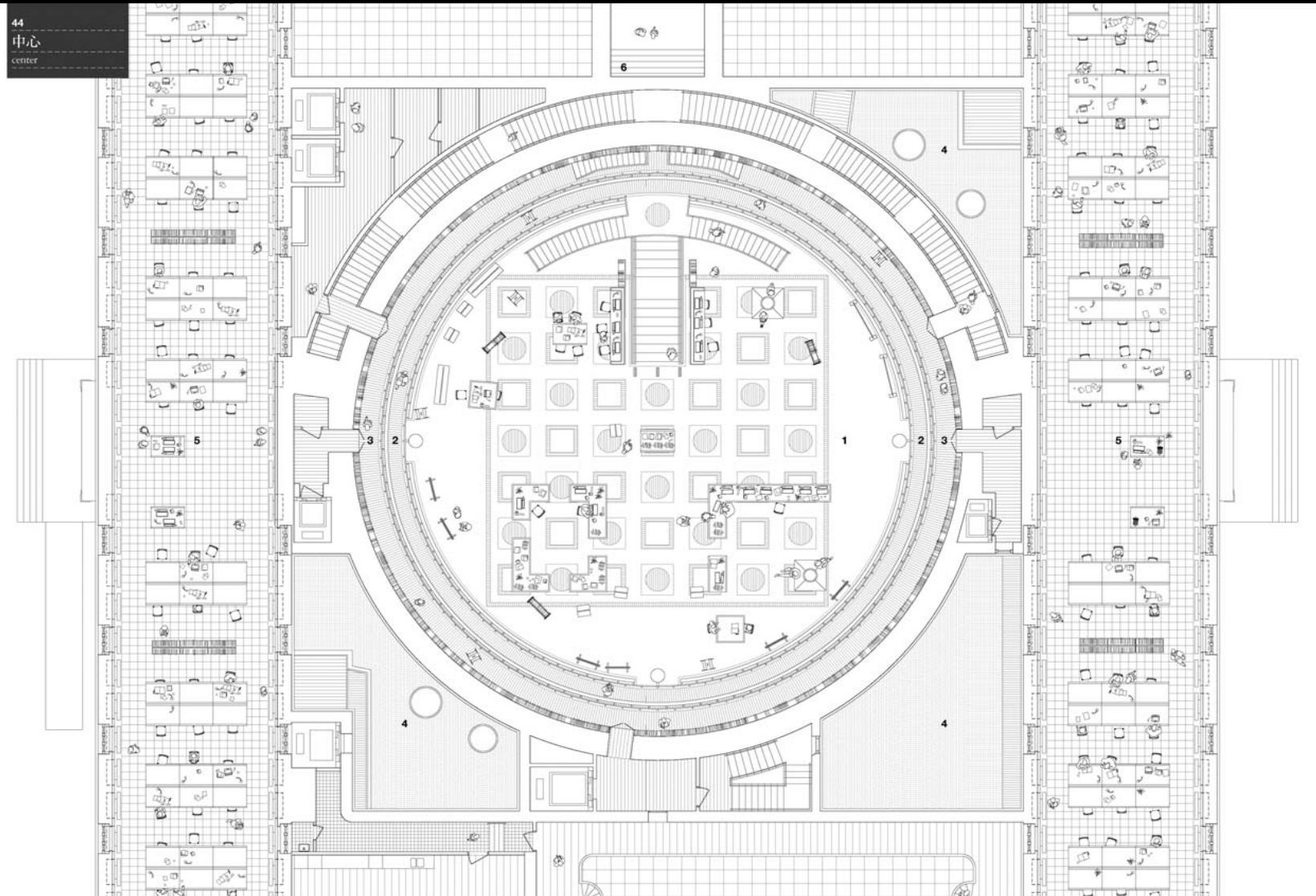
ケッチし、写真におさめたといふ。

Q.1 — 66-67ページの配置図の中

から、ヤコブセンの自邸兼アトリエを探

しなさい。

地内にある何の大きさと近いか。



ストックホルム市立図書館 | Stockholm Public Library

設計 グンナーヴ・アスブルンド | Erik Gunnar Asplund

場所 スウェーデン、ストックホルム | Stockholm, Sweden

期間 1920-1928



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 6 | 44 | center

Name 4階平面図兼配置図

Scale 1:200

Orientation

1 中央閲覧室[2階レベル]

2 円形ギャラリー[3階レベル]

3 円形ギャラリー[4階レベル]

4 光庭

5 鮑強スペース[2階レベル]上部

6 エントランス[1階レベル]上部

円筒形の中央閲覧室では、高い天井の下、三層分の高さの書棚が配置されて、本の壁がつくる空間に身を置くことになる。本の背表紙をぐるりと見わたせる館内は、本の存在感と探しやすさという基本的な機能がそのままインテリアの表現へと昇華している。大通りから階段を上がり、館内に入ると、さらに階段が延び、閲覧室の一部が正面に見える。その階段を上がると徐々に高揚

感につながり、ハイサイドライトからの柔らかい光が満ちる室内の中心に、頭から入っていく非日常の空間体験をする。

Q.1——閲覧室の中心から円形の書架までの水平距離は、一層目で何mか。

Q.2——円形の書棚は3層ある。本の厚みを4cmとし、すき間なく書架に収納されているとすると、この中央閲覧室

には何冊の本が収蔵されているか。

Q.3——当初は、貸出カウンターが円の中央にあった。そのことによる長所と短所を述べなさい。

### マスター・プラン「上野の配置図」の制作と展示

東京藝術大学元倉眞琴退任記念「都市への愛・キャンパスへの愛」展に「上野の配置図」を出展した。上野恩賜公園を中心とした 1.8km 四方のエリアに主要な 29 の建物に東京藝術大学の 28 の施設を加えた計 57 の建物が平面図化され、広域の配置図の中で一覧できる。計 234 の部屋名キャプションは建物の機能やレイアウトを横断的に見られる。



東京藝術大学陳列館での「上野の配置図」(3m×3m)の展示

### 旅を伝えるメディアとしての配置図

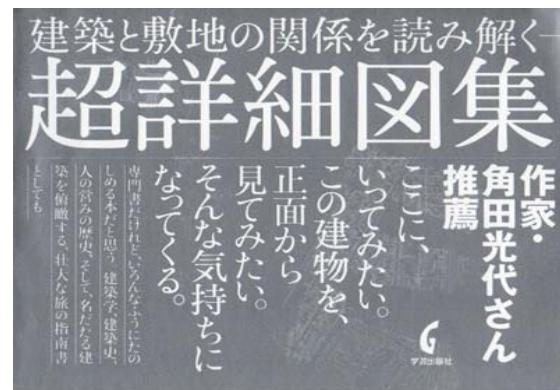
旅の達人である作家の角田光代さんと『サイトー建築の配置図集』をきっかけとして創作と記録の関係や、旅のガイドブックとしての可能性などを対談した。

#### Aプロジェクト

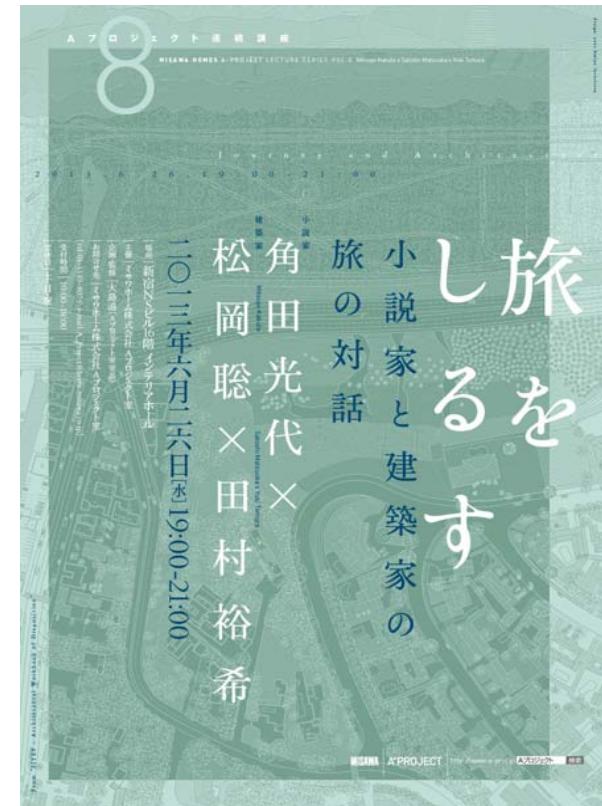
「旅をするす 小説家と建築家の旅の対話」

日時 | 6月 26 日 (水) 19:00 ~ 21:00

会場 | 新宿 NS ビル 16 階・インテリアホール



『サイトー建築の配置図集』の帯：角田氏による旅の指南書としての視点



対談「旅をするす」：配置図集の魅力を旅をキーワードに語る



### ミクヴェ・イスラエル・シナゴーグ計画案 | Mikveh Israel Synagogue

設計 ルイス・カーン | Louis I. Kahn

場所 米国、フィラデルフィア | Philadelphia, Pennsylvania, USA

期間 1961-1972



SITES - Architectural Workbook of Disposition | ZOOM 5 | 35 | pivot

Name 1階平面図兼配置図

Scale 1:2000

Orientation

1 大礼拝堂

2 小礼拝堂

3 講堂

フィラデルフィアの歴史的地区に計画さ

れ、未完に終わったシナゴーグ（ユダヤ教  
会堂）、小礼拝堂、スッカラ、講堂、博物  
館、教室、事務所等を含む複合施設。

大礼拝堂の平面は、引き延ばされた八  
角形の輪郭をしており、その中に楕円

が嵌め込まれている。直線の壁面に窓  
ではなく、円柱の塔の外側にガラスがは  
められた開口部がヒラヒラ、それよりも大き

な、ガラスの嵌められていないアーチ型

の開口部が内側に面して、室内へと光  
を導いている。この円柱の塔は、内部  
空間を照らしだす装置であると同時に、

壁で挟まれた通路によって互いに結び  
つけられた結節部として建物のかたち  
を決定づけている。

-----

Q.1——ルイス・カーンが「光の部屋」と  
呼んだのはどこのことか。

-----